

学内広報

2016.11.24

no.1488



2016年11月8日現在の総合図書館前広場。

来年7月が
待ち遠しいね!



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

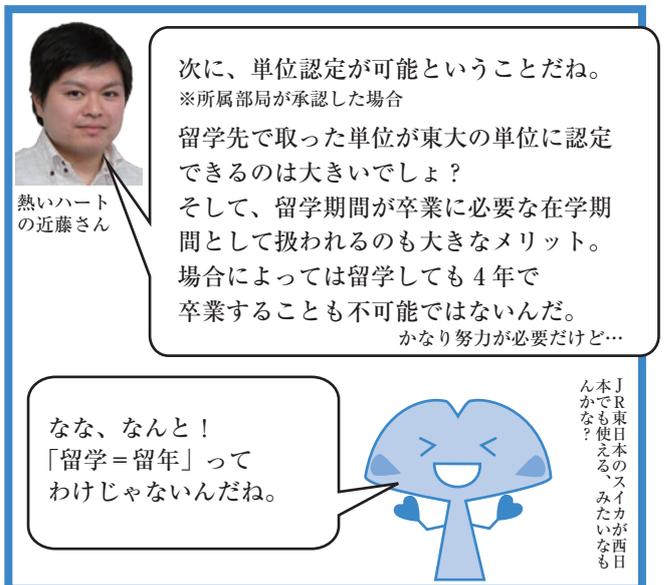
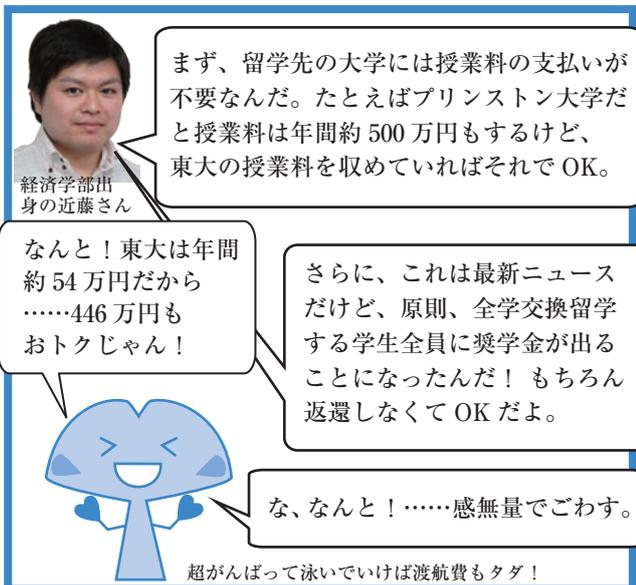
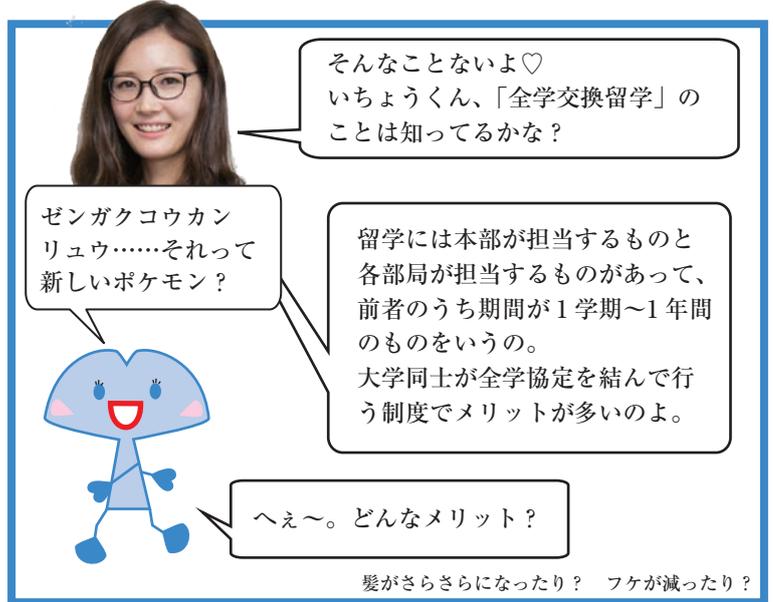
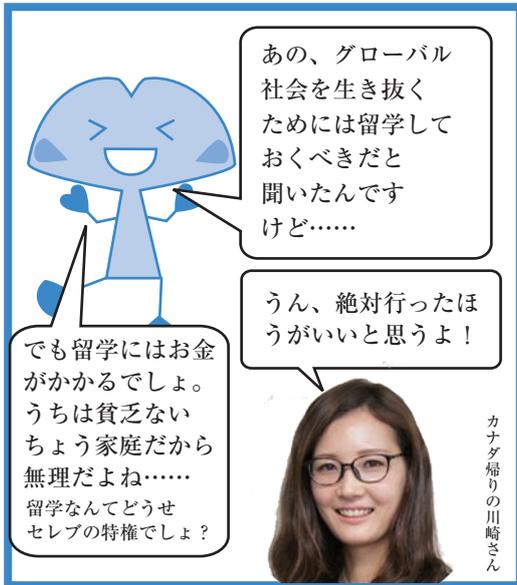
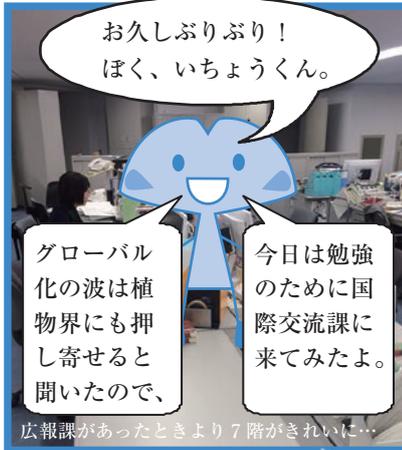
留学先への授業料不要、単位互換OKの海外留学制度
「全学交換留学」のススメ

留学先への授業料不要、単位互換OKのメリット豊富な海外留学法

全学交換留学のススメ

◎表情の少なさと背景

の省略っぷりが魅力の「いちょうくん」が読めるのは『学内広報』だけ！



東大生の留学を後押しするしくみはたくさんありますが、そのなかでも近年国際交流課が満身の力をこめてプッシュしているのが、全学交換留学制度です。1学期～1年間の留学を考えている東大生なら、メリットがいっぱいの全学交換留学が断然おすすめです！という思いを、現場で日々運営に携わっている担当者の皆さんに、総出でアピールしてもらいました。「Local × Global = ∞」！



エクボが素敵な瀬下さん

それに、協定校では交換留学生として優遇してもらえるわよ。宿舎を優先的に確保してくれるなど特段の配慮がなされるケースが多いの。

ななな、なんと！異国で優しくされたら……惚れてまうやろ！

でも、そんなにおトクな制度だったらどうせ狭き門でしょ？ どうせ全部でジイドでしょ？ 1~2枠しかないんでしょ？

エクセター大学
サウサンプトン大学
ダラム大学

そんなことないの。協定校は全70校あって、年間で約300もの枠が用意されているの。

ロンドン大学東洋アフリカ学院
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン
シェフィールド大学
ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン
マギル大学
ウプサラ大学
スウェーデン王立工科大学
ストックホルム大学
ルンド大学
フローニンゲン大学
ライデン大学
サンパウロ大学
ジュネーブ大学
チリ大学
スイス連邦工科大学チューリッヒ
エルク・コレヒオ・デ・メヒコ

セントペテルブルク大学
コペンハーゲン大学
ヘルシンキ大学
エコール・ポリテクニク
グルノーブル・アルプ大学
EHESS
ストラスブール大学
パリ政治学院
ケルン大学
ベルリン自由大学
ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクスミリアン大学

北京大学
清華大学
南開大学
上海交通大学
ガジャマダ大学
マラヤ大学
フィリピン大学
シンガポール国立大学
チュロンコン大学
アデレード大学
オーストラリア国立大学
モナシユ大学
メルボルン大学
ニューサウスウェールズ大学

高麗大学
ソウル大学
浦項工科大学校
延世大学
香港大学
国立交通大学
国立台湾大学
オークランド大学
オタゴ大学
モナシユ大学
メルボルン大学
ニューサウスウェールズ大学

うわっ、こんなに!? しかも一流大学ばかり! でも、倍率、お高いんでしょ?

それが、実はそれほど高くないの。詳しくはこの表を見て。

ほんとだ! 申請数0の大学もある! さては応募条件がすごく難しいのでは? 成績がオール優じゃなきゃダメ? 総長賞必須? ポケGOレベル30以上?

全学交換留学応募状況 2015~2016 年期 (申請数は第1希望~第3希望の合計) 申請数 166 派遣数 91 → 倍率 **1.8倍**

国/校	申請数	派遣数	国/校	申請数	派遣数	国/校	申請数	派遣数
中国 国立交通大学	0	0	チリ チリ大学	2	1	デンマーク コペンハーゲン大学	11	6
中国 上海交通大学	2	1	チリ チリカトリック大学	4	3	フランス エコール・ポリテクニク	0	0
中国 北京大学	5	4	カナダ トロント大学	28	3	フランス ストラスブール大学	3	2
中国 清華大学	7	3	カナダ マギル大学	9	2	オランダ ライデン大学	1	1
中国 香港大学	12	5	韓国 イェール大学	4	1	ロシア サンクトペテルブルク大学	6	3
韓国 ソウル大学校	3	2	アメリカ プリンストン大学(学部)	24	1	スウェーデン ストックホルム大学	8	0
韓国 延世大学校	1	1	オーストラリア オーストラリア国立大学	13	2	スイス スイス連邦工科大学チューリッヒ	11	5
シンガポール シンガポール国立大学	10	3	オーストラリア アデレード大学	6	1	スイス サウサンプトン大学	7	1
タイ チュロンコン大学	0	0	ドイツ メルボルン大学	18	6	英国 シェフィールド大学	13	4
ブラジル サンパウロ大学	0	0	ニュージーランド オークランド大学	0	0	英国 ロンドン大学東洋アフリカ学院	1	1

そんなことないよ。留学先にもよるけど、TOEFL iBT 79点以上の語学力があって、面接で熱意を伝えられればなんとかなるはず。

マジっすか! 東大生ならいけるかもね! 裸子植物にはキツイけど... つか、東大生なら応募しなきゃソンだね!

よし! ぼくも英語を猛勉強して応募するよ!

でしょ。ちょうどいま来年度秋・春留学開始分の募集の最中だから、周囲の学生さんにこの制度をぜひ教えてあげてほしいの。詳しくはここを見てね。
www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/

あ、これ、東大生じゃないと応募できないの。ごめんね。そもそも人間でない...

せっかくその気になったのにいちよう差別?

まあまあ。このTシャツあげるから機嫌直してよ。
※本誌1484号を参照
フォトコンテスト※の入賞者だけがもらえた伝説の逸品よ!

OK 牧場!
これ着て東大に入って全学交換留学で世界に飛び出すぞ!
∞ Possibilities lie ahead of me!

完

◎「裸子植物界のスター」いちようくんに励

ましのおたよりを本部広報課

(kouhoukikakuadm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

特集は次のページにつづく

全学交換留学 体験者に聞きました

全学交換留学制度に応募して見事に審査を突破し、1年間の留学を終えて東大のキャンパスに帰ってきた学生さん2人に、それぞれの体験談を語ってもらいました。全学交換留学制度運営委員会委員長の園田茂人先生のお話とともに、現場のリアルな声を聞いてみましょう。

先輩に聞いて制度利用を決意

——そもそもどうして留学を？

土居 ■僕は農学部の国際開発農学専修にいますので、国際開発分野で影響が強い北米の大学教育を学部時代に経験したかったです。専門の農学と別の観点から学びたかったのと、英語力を高めたい気持ちもありました。2年の夏に「体験活動プログラム」でニュージャージーに行き、プリンストン大学の学生と話す機会があって、おもしろそうだと感じました。北米を選んだにはその影響もあります。

高島 ●私は4~9歳の頃メキシコにいたせいか中南米に興味があり、教養学部のラテンアメリカ研究コースに進みました。中南米をもっと知りたい、と思ったのが理由です。チリにしたのは、応募当時、全学交換留学で行ける中南米はチリだけだったから。メキシコ時代に普通に話せたスペイン語が日本では使う機会がなく、全然使えなくなり、もったいないと感じたのも理由です。

——時期は二人とも3年時ですね。

高島 ●なるべく早く行きたかったんです。2年の2月から行けるAIKOMが一番早かったんですが、さすがに願望から出発まで短すぎて厳しいと思い、次に早い全学交換留学にしました。2年の10月頃に東大のウェブサイトを見て、AIKOMと同じ協定校が全学交換留学にあったので、国際交流課に問い合わせしてみたんです。その際に、全学交換留学ならAIKOMと違う時期に行けると知りました。

土居 ■僕は三鷹国際学生宿舎にいたので、周囲に留学経験者が多く、全学交換留学制度は1年の夏頃には知っていました。他には、農業経済で有名なイリノイ大学の小山八郎記念奨学制度も検討しました。

——選考の面接はどんな感じでした？

土居 ■話す内容は一応考えていましたが、本番ではかなりたどたどしくなっていました。「やってみよう」と思ったので、

第一志望で通ったというメールをもらって驚きましたね。その年、農学部の申請者は僕しかいなかったらしく、大目に見てもらえたのかな(笑)。第二志望はイリノイ大学、第三志望はブリティッシュコロンビア大学でした。

高島 ●私はチリカトリック大学しか申請しませんでした。募集人数が多かったので、なんとか通るはずだと読みました。

——冷静な読みでした。では、向こうの生活で印象的だったことは？

土居 ■寮費の高さかな。キャンパスは郊外で近辺の家は安いのに、寮費は約11万と超高額でした。しかも食事なし。でも最初は不慣れなので寮がいいかなと思って入りました。半年そこに住んで、もう半年は一軒家を韓国人、カナダ人、イギリス人とシェアしました。

便座がないトイレにも次第に順応

高島 ●私の場合は大学の寮はなく、ホームページを見て信頼できそうなカトリック系の学生寮にしました。3人部屋で3食付。そういえば、大学のトイレに便座がなく、最初は戸惑いました。そのうち順応しました。

土居 ■寮の共有部分にソファがあって、友達を呼んでよくパーティーをやりました。共有スペースでいっしょに勉強したり、ごはんをつくって食べたり、テストの打ち上げをやったり、日本より学生同士の交流が多かった印象ですね。

高島 ●シャワー設備がいま一つで、水しか出なかったり、水道管が破裂して断水したり。排水設備が弱く、普通の雨で休講になったこともありました。あと、辟易したのは食べ物ですね。ニュートラルなパスタばかりという印象を持ちました。

土居 ■カナダも、食費は高いけどいまいちでしたよ。スシを出す店が多くて、通り100mに10軒もあったかな。シャリがぼろぼろの「なんちゃって寿司」でしたが、サーモンなら安心でした。ただホワイト

土居将之 さん
農学部4年
大阪府出身
→カナダ・トロント大学
(2015.9~2016.4)

バスケット好き。ラプターズの活躍を現地で堪能。留学時の持参品は改源。



ツナは爆弾。日本人が消化できない油を含むらしく、腹をこわすと噂でした……。

——留学先の施設などはどうでしたか。東大と違う点などはありましたか？

土居 ■よかったのはジムです。オリンピック級の体育館が5時から23時まで予約なしで使える。ランニングして筋トレして授業に行く、というのが普通にできました。バスケのコートも4面もあって、ぱっと入ってプレイできる。こういう面を重視する文化なんだなと思いました。

高島 ●特にいい点は思い出せませんが、体育でホッケーの授業をとったら、初めての人も多くて、経験者の私が「すごい人」と思われたのと、先生に名前を略して「リ」と呼ばれたのは、印象的でした。

頼んだブラックコーヒーが超甘…

土居 ■最初は言葉がわからず、店でコーヒーを頼むのもひと苦労でした。ブラックで飲みたいのに甘いコーヒーを出され続けて。僕のblackの発音が悪かったんですね。そもそもブラックはマイナーで、Extra Large Double Doubleという注文が多いんです。ミルクとシロップを2プッシュの意味ですが、1プッシュのノズルが巨大なんですよ。すさまじい甘さでした。

——授業についてはどうでした？

高島 ●史学の授業を取ったんですが、日本で学んだ歴史から見ると、同意できない部分がけっこうありました。授業を通



● **高島理沙子**さん
教養学部4年
東京都出身

→チリ・チリカトリック大学
(2014.7~2015.6)

運動会ホッケー部
でいまま活躍中
(MF)。留学時の
持参薬は正露丸。



して学問的に成長したとはあまり思えないですが、気づきはもちろんあって、勉強しようとの思いは強くなりました。たとえば、13世紀のヨーロッパまでどこにも文明はなかった、とチリ人の先生は言いました。いまはそういう西欧中心の見方は間違っているという考えが潮流ですけどね。アジアを軽視することも言うので、ムツとしました。チリ人が自分を西洋の一員と捉えているというのも、よくわからないと思いつつ、気づきの一つです。

留学先で進路を再考することに

土居 ■僕は大学院に進学後に国際機関で働くことを考えていましたが、向こうで国際開発を経済理論で考える授業に出て、変わりました。学生や先生が正論で盛り上がり上がっていて、本気で国際開発を志す人がいるとわかったのはいいんですが、どうも居心地が悪かった。公的な援助は大切だけど、自分はそこでは必死になれないと思いました。格差を生むしくみが巨大すぎて、国際機関のようなやり方で変えるには時間がすごくかかるしトップダウン色が強い。現地と遠い場所で何かを進める違和感もある。ならビジネスに現地を巻き込んで少しずつ変えていく仕事のほうが、リスクもあるけど自分とはがんばれるかな、と。そんな思いが生じました。どう進むかは未定ですが、民間企業で何かできることをと思うようになりました。



高島 ●私は総合文化研究科に進もうと思っ
ていましたが、やめました。東大の別の
研究科か海外の大学院か、それとも就
職か、と迷走中です。じつは、開発系も
いいなと思っています。経済史の開発経
済寄りのことに興味が出てきて。でもい
まの話を聞いて、考え直そうかな……。

土居 ■いや、いいと思いますよ！

——では残念だったことはありますか？

土居 ■英語の伸びが思ったほどではな
かったことです。伸びたのは確かだけど、
最後までディスカッションにはついてい
けなくて……。あと、海外の学生は優秀
だと聞かされていて、確かにすごく熱を
こめてよく発言するけど、実は内容ない
よね、と感じることも多かったですね。

高島 ●私は以前タイにも住んでいました。
メキシコもタイもむさ苦しさが私には魅
力で、チリでもそこに期待していました。
だけど、行ってみるとチリは静かだしき
れいだしで、そこは少し期待外れでした。
私には少しうるささが足りなかったかな。

選ばれた責任も感じながらの日々

——最後に、経験者として感じる全学
交換留学のよさを教えてください。

土居 ■大きいのは金銭的な部分です。特
に物価が高い北米ではこれが圧倒的。う
ちは裕福なわけではないので、交換留学
じゃなかったら正直きびしかったです。
あと、ある程度の責任を感じながら行く
ことに意味があります。選考を通過した
という自負があるので、単位も含めて何
かを得て帰ろうとの思いが常にありまし
た。それから、連続性ですね。全学交換
留学でトロントに行った人のコミュニテ
ィもあって、そこからのつながりが広が
りやすいというよさもありました。

高島 ●全部言われちゃいました(笑)。私
は他国から来た人が興味深かったです
ね。義務として来ている人もいたけど、
専攻が国際関係で副専攻がラテンアメリ
カ関係だったり、けっこう中南米に興
味を持つ人がいると感じられました。日
本にいて中南米に関わる人は少ないけ
ど、外にはちゃんとしていることがわ
かったのがよかったです。全学交換留
学のおかげです。

——ありがとうございました。

担当教員に聞きました



情報学環教授

園田茂人

羽田正先生からバトンを受け継ぎ、今年
度から全学交換留学運営委員会の委員長
を務めています。東大の全学交換留学制
度の歴史はまだ浅く、ようやく2011年
から始まったものですが、国際本部の
教職員一丸となつての努力の結果、こ
こ数年で急激に拡充しており、現在の
協定校ラインナップは大いに胸を張
れるものです。私立の有力校とはまだ
差がありますが、国立大学の中では
先を行く東北大学や九州大学とも遜
色ないレベルまできているのは確か
です。

全学交換留学はパートナーがあつて
のものから、自分たちだけで進めるこ
とはできません。これだけ協定校が増
えると、受け入れ・送り出しのタイ
ミングだけでも千差万別で、現場の
調整は非常に大変です。しかし、留
学は学生を究極的に鍛えるもの。教
育において教員ができることは実は
限られ、世代の近い学生同士がじか
に交流し切磋琢磨することこそが彼
らの成長を促すのだと思います。だ
からこそ留学は重要で、全学を挙げ
て進めるべきものなのです。

教育と研究をわけて考え、学生の
面倒を見ると思つて感じる教員もい
るようです。しかし、たとえば研究
室に受け入れた留学生が帰国後に
研究の裾野を広げてくれるという
ことは十分ありえます。自分のやり
方を母国に持ち帰って展開してくれ
れば、研究の世界が広がります。研
究を支援してくれる人が海外に
いるということもあります。国内
外のギャップをつかまえて研究に
落とし込むという発想に立つと、こ
の仕事は楽しい。私はそう思いなが
らやっています。

現在、東南アジアやロシアの協定校
は少なく、アフリカはゼロ。今後は
その辺りの協定校を増やしていくと
ともに、学生のマインドもバラエ
ティに富むものになりたいと思つて
います。英語を身につけたいとい
うと米・英・豪となりがちですが、
実はシンガポールでもいいわけ
です。そう捉えれば可能性はぐ
っと広がる。行くならプリンス
トンじゃなきゃというマインドセ
ットでは非常にもったいないわけ
です。全学交換留学は、学生を鍛
えるだけでなく、学生を受け
入れ、送り出す教員にもハッピ
ーな制度です。学生を一時的に
取られたなどと考えず、長い目
、広い目で見守ってください。

教養教育の現場から

第18回

リベラル・アーツの風

創立以来、東京大学が全学をあげて推進してきたリベラル・アーツ教育。その実践を担う現場では、いま、次々に新しい取り組みが始まっています。この隔月連載のコラムでは、本学のすべての構成員がぜひ知っておくべき教養教育の最前線の姿を、現場にいる推進者の皆さんへの取材でお届けします。

知識を実践に、実践を知恵へと導くキャリア教育

／「教養学部生のためのキャリア教室1・2」

お話し／教養教育高度化機構
社会連携部門 特任講師

標葉靖子



知識と実践のギャップを体感

——社会連携部門では1・2年生向けのキャリア教育を実施しているんですね。

「キャリア教室1・2、博報堂ブランドデザインスタジオ、ゲームデザインの4つです。キャリア教室1は、まずは様々な分野で活躍されている社会人の方の話を聞いて考えようというオムニバス講義です。キャリア教室2は、3つの企業・官庁が出す課題に学生チームが短期間で取り組み、成果を提案するプロジェクト型授業で、知識と実践とのギャップを体感します。キャリア教室1が入門編、2が中級編で、ブランドデザインスタジオは応用編。ゲームデザインは思考スキルという位置づけ。駒場生が実社会の多様性を意識することに意味があると思っています」

——課題というのはどんなものですか？

「たとえばダイヤモンド社（ハーバードビジネスレビュー）の場合は、ある人のインタビュー記事をつくるという設定で、どんな質問をすべきかを考え、プレゼンの優秀チームが実際にゲストを取材してみる、ということをやりました。文科省は「ノ

ーベル賞を倍増せよ」、マイクロソフトは「ICT技術を使って新しい働き方を提案する」のように、各社・官庁が実際に抱えるテーマを出題いただいています」

「学生は3つの課題全てに参加するので、メディア、政策、ITのように、毛色の違う顔ぶれを意識しています。1つのテーマを半年かけて考える博報堂ブランドデザインスタジオと違い、複数テーマを短期間で、という意図もありました」

倫理的に問題ない姥捨山!?

——授業で印象的だったことは？

「パバッと調べて素早く発表にまとめられる反面、ゼロベース思考で試行錯誤する感じはしませんでした。効率を重視し寄り道しとしない、受験時代の正解志向が残っているのかな、と。あと、日本の財政健全化という課題である学生が「倫理的に問題ない姥捨山を」と言った際はドキッとしました。よく聞くと、高齢者の方が自活できる環境作りにも世の求人需要も入れるという話でしたが」

——では、キャリア教室1の人選にはどのような意図がありましたか？

「トップリーダーから等身大の方まで、幅広いゲスト構成でいこうと決めました。先達の話聞くだけでなく、途中でワークショップも挟んでいます。同じ話でも学生の受け取り方は千差万別ですから、そこを話し合ってみようというものです」

——学生や企業の反応はどうですか？

「アンケートでは、等身大の話は不要だという人がいる一方、トップの話聞くのが減入るとい人もいて、そこははっきりわかれまして。参加企業・官庁からは、社内と違う意見が聞けて刺激になる、若手社員の教育になる、CSRの参考になった、普段の仕事に関する暗黙知を可視化できた、などの声をいただいています」

「少し残念なのは、キャリア教室1で理系の学生が少ないことです。理系は修士進学が主で、1・2年生でキャリアというのはピンとこないのかもしれませんが、専門を深めていく前の駒場時代だからこそ効率を気にせず多様な世界に触れてほしいですね。以前の講演も聞きたいという需要が学生間にあるので、今後は講義の過去アーカイブを活用できるというかなと思っています」

キャリア教室2の課題例（第1～第2期）

ICTで社会に新たな価値を	NEC
食料・水・環境の未来を拓く	クボタ
日本の財政健全化に挑む	財務省
情報を引き出す技術	ダイヤモンド社
ノーベル賞を倍増せよ	文部科学省
Real solutions, real world, real impact	日本マイクロソフト社

キャリア教室1の講演者例（第1期・抜粋）

国際連合広報センター 所長
資生堂ジャパンデジタル事業部 マネージャー
科学技術振興機構 上席フェロー
日本経済新聞社企業報道部記者
一般社団法人 HLAB 代表理事
一橋大学商学研究所教授



① キャリア教室2より。NECの社員の方と東京2020の先を見据えたドローンと顔認証システムの活用について考えました。

② キャリア教室2の参加3社合同交流会。③ ゲームデザイン授業におけるゲーム試作品。



ワタシのオシゴト 第128回

RELAY COLUMN

本部奨学厚生課奨学チーム 専門職員 市川賀一

学生支援センターをご存知ですか？



奨学厚生課事務室にて。

学生支援センターをご存知ですか？ご存じない方も多いかと思いますが、御殿下体育館の横にある、比較的新しい3階建ての建物です。その名のとおり、学生を支援する部署や学生が利用できる施設が入っています。奨学厚生課は、この学生支援センターの1階にあります。私が所属する奨学チームは、学生への奨学金や授業料・入学金免除を担当しています。3～4月、9～10月の申請時期になると、何百人もの学生たちが、申込みのために窓口を殺到します。まさに学生支援の最前線といえます。

奨学チームは女性の割合が高いということもあり、おいしいものがたくさんあります。繁忙期を終えると、おいしい店を見つけては食事会を開催しています。最近では、桃の冷製パスタを食べに銀座に出かけました。旬の桃が2種類も入っていて、パスタとフルーツの絶妙な組み合わせを満喫しました。



休日に銀座でパスタ・ランチ。

得意ワザ：オーダーメイドで作った40万円の自転車でサイクリング

自分の性格：お掃除好き

次回執筆者のご指名：寺田英雄さん

次回執筆者との関係：日本学術振興会での出向仲間

次回執筆者の紹介：行きつけの飲み屋で教わった怪しげな中国語が得意

決算のDOOR
～リロード～
数字が導く東京大学の未来

第8回

目指せ! 温かいディスクロージャー

天高く馬肥ゆる秋。今年も東京大学定期株主総会の日がやってまいりました。第2回目の今回は決算報告のほか、基調講演、パネルディスカッション、動画上映など、昨年に比べて企画が盛り沢山! 総勢125名のお客様で賑わいました。中でも好評だったのが関西大学の柴健次教授(会計学)のご講演「東大が大学ディスクロージャー時代を拓く」です。

ディスクロージャーとは、企業や行政機関などが組織の現状、活動内容、活動成果などに関する情報を、ステイクホルダー(利害関係者)に自発的に開示をすることで、法律で義務付けられるアカウントビリティ(財務諸表の開示)とは異なります。ステイクホルダーはその情報により株式購入など意思決定を行います。「大学からの情報発信が少ない中で、こういう決算報告を2年も続けてやっておられる東京大学は素晴らしい」。柴先生、まずは褒めてくださいます。「が、先程の青木さんの財務数値を並べた淡々とした報告、あれは冷たいディスクロージャーです。最近収入が減っている? ならばその理由の詳細を私は聞きたい」。ぼっきり切られてしまいました。

財務数値は正直者。大学の状況を客観的に伝えてくれます。しかし、なぜその状況に至ったかまでは説明してくれません。ステイクホルダーを意識して活動するのはよいけれど、形式的では無意味である、先生は厳しくご指摘くださったのです。ならば、誰に対し何をディスクローズすべきなのか。とある会議で伺った企業の研究開発部門の部長さんのご発言を思い出しました。「大口共同研究(1千万円以上)が国内より海外大学のほうが多いのは、リスクが小さくリターンが大きいため。企業は大学にコストを負担すると思っていない。成果を得るための投資と考えているのです」。すると企業に対しては、先生方の研究内容、研究資金、期待できる成果(お金だけではなく)が開示すべき内容では。学生には? 学内教職員には? 我々の試行錯誤はまだまだ続きます。

さて、今回の総会、北は北海道、南は九州まで25大学の(国立、私立)教職員の方も参加くださいました。いつの日か、国立、私立、公立問わず、大学版ディスクロージャー大賞ができれば、そんな思いを胸に来年度に向け夜の反省会へといそいそと出向いたのでした。(青)



学生さんからも鋭い意見が。詳細は1月号の特集を参照!

本部決算課(内線22136) kessanka.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

あちこちそちこち
東京大学 第14回

本郷・駒場・柏以外の本学の現場の教職員が紹介

地震研究所

小諸地震火山観測所の巻

技術専門員

辻浩

浅間山等の観測を人の手で支える

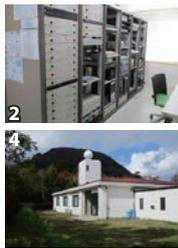


観測所3階建物とHUB局アンテナ。

昭和30年に小諸市に設立された小諸地震火山観測所は当初、浅間山の地質学的・地球化学的研究を目的として岩石薄片作成室や化学分析室などが置かれていた。しかし、これらの機能は平成10年頃から浅間山の地球物理学的研究を行っている浅間火山観測所との一体化が進み消失していった。

そして、現在は主に浅間火山観測のために山体やその周辺に配置された28観測点の保守と浅間山で行われる種々の観測支援を行っている。中でも火口縁にある火口東や火口西観測点には地震計の他に傾斜計、空振計、GPS、可視・赤外カメラなど多項目の計器が設置されており重要度が高い。ただ春から夏の落雷被害も多いため保守の頻度が高く、その作業は噴火や滑落の危険が伴うばかりか、時には命綱を着けての作業もあり大変緊張するものである。本施設は火山観測の他にも、地震観測におけるVSAT用HUB局の整備や光ケーブルを利用したデータ流通システムの構築など、新たな機能が加わり現在に至っている。

かつて地震研究所には20弱の観測所があり、そのほとんどには複数の教職員が常駐していたが、データ転送の高度化・集中化に伴って無人化が進み、現在は富士川地殻変動観測所に1名と私のみという寂しい状態となった。そのため近年では無人化した信越地震観測所、八ヶ岳地磁気観測所、浅間火山観測所の維持・管理や観測業務もしている。今後も有人観測所としての機能を果たしていきたい。



1. 観測所1階建物。
2. 観測所観測室。
3. 火口東観測点内部。
4. 浅間火山観測所。

www.eri.u-tokyo.ac.jp/VRC/

Crossroad

産業界と大学がクロスする場所から、産学連携に関する“最旬”の話題や情報をお届けします。

産学協創推進本部

第132回

科学・技術交流サロン
「宇宙利用の新しい展開」最終報告会

科学・技術交流サロンは、産学官の幅広い分野の有識者が集まり、社会の発展を見据えてオープンな議論を通じて課題やその解決策を明確にし、イノベーション創出の促進を担う活動です。本サロンのテーマの1つ「宇宙利用の新しい展開」では宇宙開発技術の新たな応用を検討し、日本の宇宙産業をいかに発展させるかを検討してきました。全球規模での超小型衛星等の商業利用が期待され、衛星利用の環境が整備されつつあります。大学院工学系研究科中須賀真一教授が座長となり、計9法人が参加、約1年間活動を行ってまいりました。

前半6か月では大学研究者やビジネスを展開している企業等が講義を担当し議論を深めました。また留学生によるアイデア提案会、法人メンバーから課題や提案を出し合いブレインストーミングを行いました。後半6ヶ月では法人メンバーと中須賀教授との個別面談により新しいビジネス展開について議論を深めました。

最終報告会には大学関係者と法人メンバーの約50名が参加しました。冒頭中須賀教授が本サロン活動をまとめ、応用分野ごとの宇宙利用の特徴と可能性について総括しました。また今後のビジネス発展のための方法論・戦略として、①プラットフォーム・ビジネスの可能性、②考える道筋を変えてみる、③新しいビジネスへのアイデア、④効果的な技術ブレークスルー、⑤海外展開での大学との連携の重要性について言及しました。法人メンバーからは「今後の宇宙開発への期待」を発表しました。海外での衛星利用としてカンタンヴェルスピレン氏（中須賀研究室所属・修士2年）が“International Field Work”を報告、福代孝良氏（内閣府宇宙開発戦略推進事務局主査）が「宇宙システム海外展開タスクフォースの活動」を紹介しました。

本サロンの統括として中須賀教授は「宇宙利用を発展させるためには、衛星を活用するプレーヤを増やしオープンイノベーション的に連携を促進させることが重要で、大学の技術力とネットワークを活用した国際的ネットワークを構築し、事業化の試行をどんどん進めていってほしい」と呼びかけました。またサロン責任者のイノベーション推進部各務茂夫部長は米国の宇宙ビジネスを例にベンチャーを含む産学官の連携がイノベーションを結実すると締め括りました。



10月3日の最終報告会の様子。

産学協創推進本部 www.ducr.u-tokyo.ac.jp/

インタープリターズ・第112回 バイブル

教養学部附属教養教育高度化機構 定松 淳
科学技術インタープリター養成部門特任講師

遅ればせの水俣訪問

科学技術インタープリター養成プログラムで担当している授業で、私は水俣病の歴史を1セメスターのうち6回を使って紹介している。水俣病はさまざまな失敗とそれに抗おうとする人々の歴史であり、日本社会の問題点が凝縮されているからだ。これまで患者さんのお話を聞く機会は何度かあったのだが、先日念願になって水俣を訪問することができた。

行程をさかのぼると、帰りは敢えて九州新幹線を使わず、水俣から八代まで各駅停車のローカル線を使った。熊本県の南部はリアス式海岸になっており、美しい八代海に面して海と山に挟まれた土地がぼつぼつと続いていく。北から田浦、海浦、佐敷、湯浦、津奈木。これら芦北町や津奈木町も、チツの放水路変更後に患者が広がった地域である。

水俣はそんな海岸線のなかで少し開けた土地になっている。駅でレンタサイクルを借り、初期に患者が発生した市の南部に向かった。最初の排水路の先は埋め立てられ公園になっている。その先に恋路島があり、当初排水が流れ込んでいた水俣湾がある。水俣湾の南はまた入りくんだ海に山が迫った土地である。月浦、湯堂、袋、茂道（写真）。

入江に面した斜面にひしめき合っている人家の間を、アップダウンを繰り返して走った。これらの小さな集



落のなかで、患者と名乗るかどうか、また行政や司法から患者と認定されるかどうかでの、分断が引き起こされたわけである。

到着した晩には駅近くのファミリーレストランで食事をした。それは首都圏で私もよく使うチェーンの“水俣店”であった。店内には、家族連れや若いカップル、そしてアルバイトであろう店員さんなど、ごく普通のファミリーレストランの風景があった。当たり前のことであるが、水俣市においても患者・被害者はマイノリティーであり、直接には水俣病とつながっていない多くの日常生活がある。そのことを理解しなくては、初期の、また公害病と認定されてからですらの、水俣病患者に対する地域の風当たりの強さを理解することはできない。

これらの事実は既に書籍で知っていたことばかりである。しかし現場に身を運んだからこそ体感できることがあったと思う。それは言葉にできないほど小さな違いだが、大事な違いではないかと考える。

科学技術インタープリター養成プログラム
science-interpretor.c.u-tokyo.ac.jp

救援・復興支援室 より

第62回
本学の救援・復興支援室の最近の状況や、遠野分室の日々の活動の様子をお届けします

救援・復興支援室の活動(10～11月)

10～11月	岩手県陸前高田市「学びの部屋」学習支援ボランティア
11月17日	第28回救援・復興支援室会議

ザシキワラシの日常③⑥

本部企画課係長(遠野分室勤務)



文: 佐藤 克憲

今年8月末に観測史上初めて東北地方太平洋側から上陸した台風10号により、岩手県では東日本大震災の被災地でもある宮古市、久慈市、岩泉町を中心に大きな被害が出ましたが、10月23日にその中でも被害が甚大であった岩泉町へ災害ボランティア活動に行ってきました。

岩泉町は東京23区に横浜市を加えた広さに匹敵する本州で一番面積の広い町で、大部分が山間部であり、町内を流れる3本の河川に沿って集落が形成されています。今回の活動場所は、町の中心部から車で5分ほどのところにある、国道455号線とその横を流れる小本川に挟まれた土地に建つ個人宅で、活動内容は床下及び倉庫の泥出しでした。災害発生から2カ月近く経っていましたが、床板を剥がして通気が良くなっている場所でも表面以外はまだまだ柔らかくて重く、流入した土砂の多さ(その厚さにより湿気が抜けない)を身をもって感じました。

県内の東日本大震災の被災地は岩泉町同様海岸付近まで山間部が続き、仮設住宅も数少ない平地のある河川沿いに多く設置されており、今回の台風では上記3市町以外の被災地でも仮設住宅の浸水被害が発生して、「大雨の際の仮設住宅の防災」という課題が浮き彫りになっています。しかし平地が少ないという物理的な制約はいかんともし難く、主に防災体制の見直し等により人的被害を極力少なくするというソフト面からの対策を講ずるものと思われませんが、今回のボランティア活動で自然の脅威への人間の無力さを改めて感じ、とにかくこれ以上震災被災者の方へ追い討ちをかけるような災害が発生しないことを願うばかりです。

今回もお読みいただき「オアリガトガンス!」。



(左) 国道455号線沿いに何本も折れ曲がる鉄柱。(右) フェンスが倒れ土砂で埋まっている野球場。

www.u-tokyo.ac.jp/public/recovery/info_j.html
kyuenfukkou.adm@gsmail.u-tokyo.ac.jp 内線: 21750 (本部企画課)

トピックス

全学ホームページの「トピックス」に掲載された情報の一覧と、その中からいくつかをCLOSE UPとしてご紹介します。

掲載日	担当部署	タイトル	実施日
10月12日	本部社会連携推進課	平成 28 年度「東京大学稷門賞」授賞式が举行される	10月11日
10月12日	本部学生支援課	漕艇部が全日本大学選手権各種目で入賞	9月22日
10月13日	生産技術研究所	欧州委員会のヴィオレタ・ブルツ運輸担当委員が次世代モビリティ研究センターを訪問	9月23日
10月17日	東洋文化研究所	平成 28 年度漢籍整理長期研修を実施	6月6日～9月9日
10月18日	生産技術研究所	谷口維紹 特任教授が米国医学アカデミーの国際会員に選出	10月18日
10月24日	人文社会系研究科・文学部	第 20 回東京大学文学部北見公開講座を開催	10月7日
10月25日	本部学生支援課	箱根駅伝予選会で陸上運動部の近藤選手が 2 年連続で関東学生連合チームに選出されました！	10月15日
10月26日	卒業生室	第 15 回東京大学ホームカミングデイ開催	10月15日
11月2日	柏地区共通事務センター	柏キャンパス一般公開 2016 を開催	10月21日
11月4日	農学生命科学研究科・農学部	仔馬の名前決まりました	11月2日
11月4日	附属図書館	「国際オープンアクセスウィーク 2016」に合わせて展示等の企画を実施	10月24日～30日
11月8日	医科学研究所	パスツール研究所との国際学術交流協定を更新	11月2日
11月9日	環境安全本部	平成 28 年度 総長安全衛生パトロール実施される	10月27日

お知らせ

全学ホームページの「お知らせ」等でご案内しているお知らせを一部掲載します。

掲載日	担当部署	タイトル	URL
10月15日	本部渉外・基金課	税額控除の対象となる 修学支援事業基金がスタートしました！	http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/notices/notices_z0802_00002.html
10月21日	本部産学連携推進課	協創プラットフォーム開発 1 号ファンドへの出資金認可	http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/notices/notices_z0902_00001.html
11月4日	大学総合教育研究センター	東大 TV YouTube チャンネルを開設	http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/notices/notices_z0308_00011.html

本年秋の紫綬褒章受章・文化功労者顕彰について (広報室)

幾原雄一 教授 (工学系研究科)、古澤明教授 (工学系研究科)、水野哲孝 教授 (工学系研究科) が、本年秋の紫綬褒章を受章されました。おめでとうございます。また、岩井克人 名誉教授 (経済学研究科)、辻惟

雄 名誉教授 (人文社会系研究科)、福山秀敏 名誉教授 (物性研究所) が、文化功労者として顕彰されました。おめでとうございます。受章・顕彰の荣誉に輝いた先生方のご功

績を、ご本人のことをよく知る先生が800字程度で紹介する記事については、全学ホームページの「お知らせ」欄からご覧ください。

表紙について

表紙写真は、新築工事が進む本郷キャンパス・総合図書館別館 (写真はB1F部分) です。地下約46mに達するこの建物は、ニューマチックケーソン工法という特殊技術で作られています。B1Fには、学生や研究者が分野を越えて集い、対話することのできるライブラリープラザ (仮) が、B2～4Fには、約300万冊の蔵書を保管できる自動化書庫が設置されます。ライブラリープラザ中央のトップライト上には、図書館前広場の噴水が復元されます。現

在、内部の仕上げや自動化書庫機材の搬入、組み立てが進められており、平成29年5月末竣工、同年7月オープン予定です。11月2日には見学会が行われ、図書行政商議会の先生方をはじめとする学内関係者一行が参加し、今しか見られない工事の現場を目の当たりにしました。

新図書館計画として、別館新築と本館改修工事を同時に進めており、完成後には人と知が集いつながる知の拠点として、歴史ある総合図書館が生まれ変わります。完成までの間はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



① 外観完成予想図。
② ライブラリープラザ (仮) 完成予想図。③ 巨大自動化書庫となるフロアを見学する一行。



CLOSE UP



東京大学稷門賞授賞式
中山報恩会様と五神総長ほかの本学関係者との記念撮影。

平成28年度「東京大学稷門賞」授賞式を挙

(本部社会連携推進課)

平成28年度「東京大学稷門賞」の受賞者が、公益財団法人中山報恩会様、株式会社池田理化学、イオン株式会社様、公益財団法人イオンワンパーセントクラブ様、株式会社ニッポンジーン様、ベジタリア株式会社様、日本電気株式会社様に決定し、授賞式が10月11日に伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホールで開催されました。本表彰は、私財の寄附、ボランティア活動及び援助等により、本学の活動の発展に大き

く貢献した個人、法人又は団体（現に在籍する本学の教職員及び学生は原則として対象外）に対し授与するもので、平成14年度より毎年度行っています。授賞式では、選考結果の報告、各受賞代表者への表彰状の贈呈があり、その後、総長の挨拶、受賞者からの挨拶が行われました。また、授賞式に引き続き、レセプションが行われ、受賞者及び受賞関係者と本学関係者との懇談が和やかな雰囲気の中で行われました。



CLOSE UP



「本戦に向けてしっかり準備しているの、応援よろしく願っています」(近藤選手のコメントより)。

陸上運動部の近藤選手が第93回箱根駅伝へ

(本部学生支援課)

第93回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の予選会が10月15日に東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地、国営昭和記念公園などを会場として行われました。今大会に出場した本学運動会陸上運動部は合計タイム10時間59分51秒の記録で総合30位の成績を収めました。しかし、陸上運動部の近藤秀一選手（教養・2年）が1時間01分04秒の成績で個人では全体

の58位となり、出場権を得られなかった大学の中で個人成績の優秀な選手が各校1名ずつ選出される関東学生連合チームに昨年に続き選出されました。昨年の本戦では補欠でしたが、今回は関東学生連合チームで10位のタイムであったことから、本戦での出走が期待されます。前回大会で出走できなかった悔しさを是非とも今回大会に出走して晴らしてほしいものです。お正月の箱根駅伝を楽しみにお待ちください！



CLOSE UP



大気海洋研究所での体験イベントの様子。

柏キャンパス一般公開2016を開催

(柏地区共通事務センター)

「発見・体験！柏の知」をテーマに、10月21日、22日の両日にわたり、柏キャンパスにおいて一般公開が開催されました。本イベントには、大学院新領域創成科学研究科、宇宙線研究所、物性研究所、大気海洋研究所、人工物工学研究センター、空間情報科学研究センター、環境安全研究センター柏支所、情報基盤センター、国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構、高齢社会総合研究機構、柏図書館及び東京大学

文書館が参加し、日頃の研究成果を紹介するため、工夫を凝らした体験コーナーや展示の実施、特別講演会を始めとした様々な講演会等の実施や、日頃見ることができない研究室や大型実験施設等を紹介するガイドツアー等、それぞれ特色のある催しが行われました。天候にも恵まれ、2日間を通して、9,600名を超える来場者が訪れ、地域に開かれたキャンパスという雰囲気が存分に感じられる催しとなりました。



CLOSE UP



2年ぶりに一般公開した懐徳館庭園。今年の人気プログラムでした。

第15回東京大学ホームカミングデイ開催

(卒業生室)

秋晴れの10月15日、本郷キャンパス、駒場キャンパスにおいて、ホームカミングデイを開催いたしました。安田講堂での「特別フォーラム」「安田講堂音楽祭」をはじめ、「のびのび広場」「落語会寄席」、銀杏並木の模擬店など多くの来場者で賑わいました。年次同窓会は6学年が集まり、すべての周年学年会において五神総

長が挨拶。周年学年会の参加者たちは、総長の直接のメッセージを聞き、大いに盛り上がりました。各学部主催による講演会、各種同窓会などキャンパスは旧交を温める卒業生で溢れました。今年は小さなお子さんを連れただご家族連れの姿も目立ちました。なお、2017年のホームカミングデイは10月21日に開催の予定です。



CLOSE UP



総合図書館の特設コーナー。

オープンアクセスの啓発・促進企画を実施

(附属図書館)

附属図書館は、10月24～30日、「国際オープンアクセスウィーク2016」開催に合わせて、オープンアクセスの啓発・促進に関する様々な企画を実施しました。オープンアクセスとは、査読付き学術雑誌論文等をウェブ上で無料公開し、読者が障壁なくアクセスできるようにする仕組みです。手段としては、インターネット上で研究者が執筆論文を公開するセルフアーカイブと、オープンアクセス誌への投稿の二つが知

られます。本学では「東京大学学術機関リポジトリ (UTokyo Repository)」を設置し、学内教員・研究者による執筆論文のオープンアクセス化を支援しています。期間中、「今日からはじめるオープンアクセス～あなたの研究を世界に開く～」をキャッチコピーとし、学内25の図書館・室と、情報システム部情報基盤課学術情報チームが、オープンアクセス関連の展示やUTokyo Repositoryの広報などを行いました。

※訂正とお願い
1487号p.15のMatriculation CeremonyをGraduation Ceremonyと誤記しておりました。訂正させていただきます。



傑出する多様さに向けた投資のススメ

多様であることと傑出すること。両者の関係が両立するまでには、それなりの投資の時間が必要です。例えば、多様な構成員を実現するために講じられるアフーマティブ・アクション（積極的優遇措置）は、これまで不利な立場を強いられた少数派に対する是正策です。現時点での業績を評価・検討するにあたって、現在にいたる過程でそもそも不利な状況にあったのであれば、現状だけで評価し判定を下すことは正しいことではありません。過去の不条理さを是正しようとする一つの手立てが本施策です。

多様であることを尊重することは、マイノリティ（少数派）に対する敏感さと密接に関連します。これまで不利な立場にあった少数派に配慮し、その不利さを今後も引きずることのないよう、未来への投資という意味づけをアフーマティブ・アクションはもっています。ひとはさまざまな強み・弱みを持ち、いろんな潜在的な能力を有しています。しかしその潜在能力を十分活かすきれない状況があるとすると、それは当人のみならず社会にとっても大きな損失です。特に、過去の学問蓄積を超える斬新な発想、着想、想像力が求

められる研究分野においては、既存の枠にはまらない潜在能力をもつ者をいかに発掘し、その能力に「賭け」る教育環境を整備するかが重要になってきます。稀有な人材を発掘し、彼/彼女らのもつ能力を十分発揮できる場としての大学をアピールすることが、グローバル時代の教育市場において強く求められています。

教育は人への投資です。その投資が芽を出す時期はさまざま、長期的な設定が不可欠です。大学経営においても長期にわたる会計勘定が必要であり、若年世代を育成するインフラを整備するには、一時点の勝ち負けの競争を過度に強調しない長期的な視点が一層重要となります。日本は超高齢化にあつて若年人口の減少が指摘されていますが、だからこそ、これまで以上に人への投資に貪欲になってもよいのではないのでしょうか。若者だっていろいろ。その先に、多様さと傑出が共存する時があります。

白波瀬佐和子
(人文社会系研究科)